１年国語総合　休校中の課題　【１/１７（月）追加分】

＜課題＞

教科書Ｐ84～91『夢十夜』を読み、その感想を１５０字以上で書きなさい。

＜条件＞

・「第一夜」、「第六夜」それぞれについて、感想を書きなさい。

・書く際に使う用紙の指定はありません。各自で準備すること。

・教科書が手元にない生徒は、以下に本文を載せておくので、それを参考にすること。

＜提出期限＞

休校明け最初の授業

夢十夜

夏目漱石

第一夜

こんな夢を見た。

腕組みをして枕もとに座っていると、あお向きに寝た女が、静かな声でもう死にますと言う。女は長い髪を枕に敷いて、輪郭の柔らかなうりざね顔をその中に横たえている。真っ白な頬の底に温かい血の色がほどよく差して、唇の色はむろん赤い。とうてい死にそうには見えない。しかし女は静かな声で、もう死にますとはっきり言った。自分もたしかにこれは死ぬなと思った。そこで、そうかね、もう死ぬのかね、と上からのぞき込むようにしてきいてみた。死にますとも、と言いながら、女はぱっちりと目を開けた。大きな潤いのある目で、長いまつ毛に包まれた中は、ただ一面に真っ黒であった。その真っ黒な瞳の奥に、自分の姿が鮮やかに浮かんでいる。

自分は透き通るほど深く見えるこの黒目の色沢を眺めて、これでも死ぬのかと思った。それで、ねんごろに枕のそばへ口をつけて、死ぬんじゃなかろうね、大丈夫だろうね、とまたきき返した。すると女は黒い目を眠そうに見張ったまま、やっぱり静かな声で、でも、死ぬんですもの、しかたがないわと言った。

じゃ、私の顔が見えるかいと一心にきくと、見えるかいって、そら、そこに、

写ってるじゃありませんかと、にこりと笑ってみせた。自分は黙って、顔を枕から離した。腕組みをしながら、どうしても死ぬのかなと思った。

しばらくして、女がまたこう言った。

「死んだら、埋めてください。大きな真珠貝で穴を掘って。そうして天から落ちてくる星の破片を墓標に置いてください。そうして墓のそばに待っていてください。また会いに来ますから。」

自分は、いつ会いに来るかねときいた。

「日が出るでしょう。それから日が沈むでしょう。それからまた出るでしょう、そうしてまた沈むでしょう。――赤い日が東から西へ、東から西へと落ちてゆくうちに、――あなた、待っていられますか。」

自分は黙ってうなずいた。女は静かな調子を一段張り上げて、

「百年待っていてください。」と思い切った声で言った。

「百年、私の墓のそばに座って待っていてください。きっと会いに来ますから。」

自分はただ待っていると答えた。すると、黒い瞳の中に鮮やかに見えた自分の姿が、ぼうっと崩れてきた。静かな水が動いて写る影を乱したように、流れ出したと思ったら、女の目がぱちりと閉じた。長いまつ毛の間から涙が頬へ垂れた。――もう死んでいた。

自分はそれから庭へ下りて、真珠貝で穴を掘った。真珠貝は大きな滑らかな

縁の鋭い貝であった。土をすくうたびに、貝の裏に月の光が差してきらきらした。湿った土の匂いもした。穴はしばらくして掘れた。女をその中に入れた。そうして柔らかい土を、上からそっとかけた。かけるたびに真珠貝の裏に月の光が差した。

それから星の破片の落ちたのを拾ってきて、かろく土の上へ乗せた。星の破片は丸かった。長い間大空を落ちている間に、角が取れて滑らかになったんだろうと思った。抱き上げて土の上へ置くうちに、自分の胸と手が少し暖かくなった。

自分は苔の上に座った。これから百年の間こうして待っているんだなと考えながら、腕組みをして、丸い墓石を眺めていた。そのうちに、女の言ったとおり日が東から出た。大きな赤い日であった。それがまた女の言ったとおり、やがて西へ落ちた。赤いまんまでのっと落ちていった。一つと自分は勘定した。

しばらくするとまた唐紅の天道がのそりと昇ってきた。そうして黙って沈んでしまった。二つとまた勘定した。

自分はこういうふうに一つ二つと勘定してゆくうちに、赤い日をいくつ見たかわからない。勘定しても、勘定しても、し尽くせないほど赤い日が頭の上を通り越していった。それでも百年がまだ来ない。しまいには、苔の生えた丸い石を眺めて、自分は女にだまされたのではなかろうかと思い出した。

すると石の下から斜に自分のほうへ向いて青い茎が伸びてきた。見る間に長

くなってちょうど自分の胸のあたりまで来て止まった。と思うと、すらりと揺らぐ茎の頂に、心持ち首を傾けていた細長い一輪のつぼみが、ふっくらと花びらを開いた。真っ白な百合が鼻の先で骨にこたえるほど匂った。そこへはるかの上から、ぽたりと露が落ちたので、花は自分の重みでふらふらと動いた。自分は首を前へ出して冷たい露の滴る、白い花びらに接吻した。自分が百合から顔を離す拍子に思わず、遠い空を見たら、暁の星がたった一つ瞬いていた。

「百年はもう来ていたんだな。」とこのとき初めて気がついた。

第六夜

運慶が護国寺の山門で仁王を刻んでいるという評判だから、散歩ながら行ってみると、自分より先にもう大勢集まって、しきりに下馬評をやっていた。

山門の前五、六間の所には、大きな赤松があって、その幹が斜めに山門の甍を隠して、遠い青空まで伸びている。松の緑と朱塗りの門が互いに照り合って見事に見える。そのうえ松の位置がいい。門の左の端を目障りにならないように、斜に切っていって、上になるほど幅を広く屋根まで突き出しているのがなんとなく古風である。鎌倉時代とも思われる。

ところが見ているものは、みんな自分と同じく、明治の人間である。そのうちでも車夫がいちばん多い。辻待ちをして退屈だから立っているに相違ない。

「大きなもんだなあ。」と言っている。

「人間をこしらえるよりもよっぽど骨が折れるだろう。」とも言っている。

そうかと思うと、「へえ仁王だね。今でも仁王を彫るのかね。へえそうかね。わっしゃまた仁王はみんな古いのばかりかと思ってた。」と言った男がある。

「どうも強そうですね。なんだってぇますぜ。昔から誰が強いって、仁王ほど強い人ぁないって言いますぜ。なんでも日本武尊よりも強いんだってぇからね。」と話しかけた男もある。この男は尻をはしょって、帽子をかぶらずにいた。よほど無教育な男と見える。

運慶は見物人の評判には委細頓着なく鑿と槌を動かしている。一向振り向きもしない。高い所に乗って、仁王の顔のあたりをしきりに彫り抜いてゆく。

運慶は頭に小さい烏帽子のようなものを乗せて、素袍だかなんだかわからない大きな袖を背中でくくっている。その様子がいかにも古くさい。わいわい言ってる見物人とはまるで釣り合いがとれないようである。自分はどうして今時分まで運慶が生きているのかなと思った。どうも不思議なことがあるものだと考えながら、やはり立って見ていた。

しかし運慶のほうでは不思議とも奇態ともとんと感じ得ない様子で一生懸命に彫っている。あお向いてこの態度を眺めていた一人の若い男が、自分のほうを振り向いて、

「さすがは運慶だな。眼中に我々なしだ。天下の英雄はただ仁王と我とある

のみという態度だ。あっぱれだ。」と言って褒め出した。

自分はこの言葉をおもしろいと思った。それでちょっと若い男のほうを見ると、若い男は、すかさず、

「あの鑿と槌の使い方を見たまえ。大自在の妙境に達している。」と言った。

運慶は今太い眉を一寸の高さに横へ彫り抜いて、鑿の歯を縦に返すやいなや斜に、上から槌を打ち下ろした。堅い木をひと刻みに削って、厚い木屑が槌の声に応じて飛んだと思ったら、小鼻のおっ開いた怒り鼻の側面がたちまち浮き上がってきた。その刀の入れ方がいかにも無遠慮であった。そうして少しも疑念をさしはさんでおらんように見えた。

「よくああ無造作に鑿を使って、思うような眉や鼻ができるものだな。」と自分はあんまり感心したから独り言のように言った。するとさっきの若い男が、

「なに、あれは眉や鼻を鑿で作るんじゃない。あのとおりの眉や鼻が木の中に埋まっているのを、鑿と槌の力で掘り出すまでだ。まるで土の中から石を掘り出すようなものだから決して間違うはずはない。」と言った。

自分はこのとき初めて彫刻とはそんなものかと思い出した。はたしてそうなら誰にでもできることだと思い出した。それで急に自分も仁王が彫ってみたくなったから見物をやめて早速家へ帰った。

道具箱から鑿と金槌を持ち出して、裏へ出てみると、先だっての暴風で倒れた樫を、薪にするつもりで、木挽きに挽かせた手ごろなやつが、たくさん積ん

であった。

　自分はいちばん大きいのを選んで、勢いよく彫り始めてみたが、不幸にして、仁王は見当たらなかった。その次のにも運悪く掘り当てることができなかった。三番目のにも仁王はいなかった。自分は積んである薪を片っ端から彫ってみたが、どれもこれも仁王を蔵しているのはなかった。ついに明治の木にはとうてい仁王は埋まっていないものだと悟った。それで運慶が今日まで生きている理由もほぼわかった。

44期　1年生　コミュ英Ⅰ　A～S　自宅学習課題

2022年1月18日

【お知らせ Notice】

●以下の課題に追加で取り組みましょう。**締切厳守！** Homework is to be completed and turned in on time!
学校再開後、最初のコミュ英Ⅰ授業で提出してください。 due on the first day everyone return to school

●現在の予定では、20 日(木)から学校が再開します。26 日(水)に英単テストが予定されています。
英単テストの範囲は、

A･B 組	第15回	(701～750)
C～H 組	第8回	(351～400)
S 組	第7回	(301～350)

勉強して下さい！

If we go as planned, Eitan Test will be scheduled for the 26th, on Wednesday. The test for A-gumi ranges from 701 to 750 as the 15th Eitan Test. Prepare for the test!

●21日(金)に**英検**受験予定の生徒は、勉強を進めましょう。 If you are to take Eiken on the 21st, please study!

【既に取り組んでいる課題 Homework till the 17th】

- 教科書穴読み練習
- エッセーライティング

【追加の課題 Additional Homework till the 19th】

(1) A組、B組

共通テストの英語(リーディング)問題を見て、自分で用意した紙に、共通テストの問題を自力で解きなさい。
時間無制限、辞書など使用可能。全問題を解いて、自分をテストしましょう。
全ての問題に挑戦した後、模範解答を見て、自己採点をしなさい。

Get the English (Reading) questions from the Kyotsu-Test (National College Entrance Examination) and solve the questions by yourself on the paper you prepared. Time unlimited, dictionaries etc. allowed. Test yourself by solving all the questions! After that, access the model answers and score yourself.

https://www.asahicom.jp/edu/center-exam/shiken2022/mondai0115_uiFshykDfV/pdf/english.pdf

https://www.asahicom.jp/edu/center-exam/shiken2022/kaito0115_JHjzBjN9j9/pdf/english_answer.pdf

(2) C～H組、S組

プレップイングリッシュ page118～119 の不規則動詞活用表を覚えなさい。
原形、過去形、意味の列の中から一部を空所にしたものを、授業内小テストとして行います。

A. 不規則動詞活用表

原形(現在形)	過去形	過去分詞形	現在分詞形	意味
be (am, are, is)	was, were	been	being	…である，…がある
begin	began	begun	beginning	始める
bite	bit	bitten	biting	かむ
break	broke	broken	breaking	壊す
bring	brought	brought	bringing	持って来る
buy	bought	bought	buying	買う
catch	caught	caught	catching	捕まえる
come	came	come	coming	来る
cut	cut	cut	cutting	切る
do (does)	did	done	doing	する
drink	drank	drunk	drinking	飲む
drive	drove	driven	driving	運転する
eat	ate	eaten	eating	食べる
fall	fell	fallen	falling	落ちる
find	found	found	finding	見つける
fly	flew	flown	flying	飛ぶ
forget	forgot	forgotten	forgetting	忘れる
freeze	froze	frozen	freezing	凍る，凍らせる
get	got	got, gotten	getting	得る
give	gave	given	giving	与える
go	went	gone	going	行く
have (has)	had	had	having	持っている
hear	heard	heard	hearing	聞く
hit	hit	hit	hitting	打つ
keep	kept	kept	keeping	保つ
know	knew	known	knowing	知っている，知る
leave	left	left	leaving	去る，残す
lend	lent	lent	lending	貸す
lose	lost	lost	losing	失う
make	made	made	making	作る
meet	met	met	meeting	会う
read (リード)	read (レッド)	read (レッド)	reading	読む
ride	rode	ridden	riding	乗る
rise	rose	risen	rising	のぼる，上がる
run	ran	run	running	走る
say	said	said	saying	言う
see	saw	seen	seeing	見る，会う

118

sell	sold	sold	selling	売る
shut	shut	shut	shutting	閉める
sing	sang	sung	singing	歌う
sit	sat	sat	sitting	座る
sleep	slept	slept	sleeping	眠る
speak	spoke	spoken	speaking	話す
stand	stood	stood	standing	立つ
steal	stole	stolen	stealing	盗む
swim	swam	swum	swimming	泳ぐ
take	took	taken	taking	取る，持って行く
teach	taught	taught	teaching	教える
tell	told	told	telling	言う，教える
think	thought	thought	thinking	思う
understand	understood	understood	understanding	理解する
wear	wore	worn	wearing	着ている
win	won	won	winning	勝つ
write	wrote	written	writing	書く

１年ＢＣＤＥＦＧＨ組　生物基礎

臨時休校延長分の課題
1 月 14 日（金）に ＨＰ で配信した課題の質を上げ、量を増やすこと。
注意事項は前回の課題を参照すること。

初回授業で提出。

現代社会(B、D、G、H組) 2021 年1月17日～19日課題

次の内容を調べレポートにまとめなさい。

※この用紙を印刷するかA4レポートに自分でまとめて提出すること。提出は次回授業時とする。

①日本マクドナルドは 1 月 9 日から、「マックフライポテト」の M･L サイズの販売を一時休止した。

（対象店舗は全国のマクドナルド約 2900 店。） 販売を休止した背景を調べなさい。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

②次の国は、日本が食料などを多く輸入している国である。

具体的にどのようなものを輸入しているのか調べなさい。（輸入額も）

地図帳を参考にするとよい。(P122、P135～142)

※インターネットで調べた場合は、どのサイトのデータを参考にしたか分かるようにURLも記入すること。

（URL：　　）

国	主な輸入品	輸入額
アメリカ		
中国		
オーストラリア		
タイ		

年　　組　　番 氏名

数学A__追加課題

学年閉鎖の延長に伴い、追加で課題を出題します。次のページが、課題内容です。

印刷できる人は、印刷し穴埋めに取り組むこと。

印刷できない人は、ルーズリーフや白紙の紙に丸写しをして穴埋めに取り組んでください。

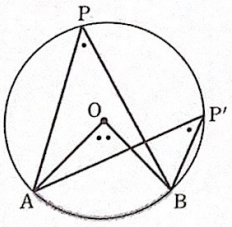
※フリガナ（ルビ）は必要な人だけ書き写すこと。

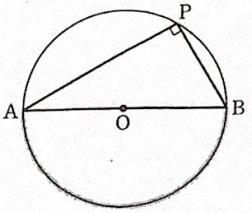
提出日は、次回の授業です。忘れずに持ってくること。

19 円周角の定理

1 円周角の定理

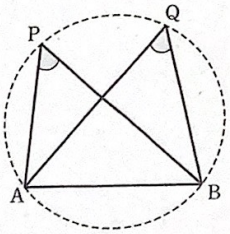
1 つの弧に対する円周角の大きさは一定であり，その弧に対する中心角の大きさの半分である。
特に，半円周に対する円周角の大きさは 90° である。





2 円周角の定理の逆

2 点 P，Q が直線 AB について同じ側にあるとき，∠APB＝∠AQB ならば，4 点 A，B，P，Q は 1 つの円周上にある。



例 19

(1) 右の図において，O は円の中心である。x と y を求めてみよう。
円周角の定理により

$$x=\frac{1}{2}\angle AOD$$

$$=\frac{1}{2}\times 70^\circ$$

$$=\boxed{\text{ア}}$$

線分 AC は円の直径であるから

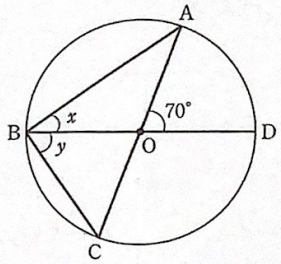
$$\angle ABC=90^\circ$$

よって

$$y=90^\circ-x$$

$$=90^\circ-\boxed{\text{ア}}$$

$$=\boxed{\text{イ}}$$



(2) 右の図の 4 点 A，B，C，D は 1 つの円周上にあるかどうかを調べてみよう。
2 点 B，C が直線 AD について同じ側にあり，∠ABD＝∠ACD であるから，円周角の定理の逆により，4 点 A，B，C，D は 1 つの円周上に $\boxed{\text{ウ}}$。